

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第134号 平成31年1月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 竹中 祐二 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス：<http://www.fuku-ot.org/>



特集：作業療法士としての地域の関わり

～地域ケア個別会議から学び、実践してきたこと～

目次

巻頭言 『地域と様々な暮らしサポート』 公益社団法人福岡県作業療法協会 副会長 佐藤 稔	・・・1
会長行動	・・・2
特集：作業療法士としての地域の関わり ～地域ケア個別会議から学び、実践してきたこと～ 社会福祉法人周防学園 介護老人保健施設ほうらい山荘 後藤 真司	・・・3
第2回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録	・・・7
公益社団法人福岡県作業療法協会臨時理事会議事録	・・・9
第3回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録	・・・11
第4回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録	・・・14
第5回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録	・・・17
各部・委員会からのお知らせ	・・・20
Occupation：井の中の蛙，大海を知らず おばた内科クリニック 板井 幸太	・・・25
リレーエッセイ： 八幡厚生病院 小塩 恭平	・・・26

巻頭言 『地域と様々な暮らしサポート』

公益社団法人福岡県作業療法協会 副会長 佐藤 稔

私たち作業療法士は、地域という言葉をよく使っていますが、地域という単位においても、様々なイメージがあると思います。私は、地元地域の小学校区単位でのまちづくり活動に携わっていますが、小学校区にも、まちづくり協議会・社会福祉協議会・自治連合会などの組織があり、それぞれで多くの生活ニーズが挙がってきます。

特に、高齢者や障害者の生活支援の枠組みの中で、見守り活動・暮らしのサポート・社会参加支援など、必要とされるサポートは多岐にわたって声があがっています。しかしながら、暮らしのサポートとして使えるサービスの知識が浸透していないのも事実です。

私たち作業療法士は、生活支援の専門職として、地域住民の生活支援に役立つ情報の発信源となり、ますます、知識や技術の向上を求められている存在であると思います。地域住民から、広く市民・県民へと繋がっていき、顔を突き合わせて作業療法を啓発していくことこそが、『作業療法の役立つ情報』の重要な発信ツールであると確信しています。

私たち専門職は、『健康寿命の延伸』や『生活行為の多様性発掘』などにおいても、常に参画し、一人一人に合った質の高い支援プログラムの立案と実践が求められています。公益社団法人福岡県作業療法協会としても、公益社団として、地域住民の生活ニーズをどのように汲み取り、一人一人の作業療法士が何を支援していけるのかを考え、実践していくことが重要な課題となっています。

まずは、お住まいの校区でのイベントや様々な取組に参画し合い、地域の中の暮らしを学んでいく必要があると考えています。当協会においても、人と人を繋ぐ取組や、広く県民の役に立つ活動、私たち会員が学べる活動、組織力向上に必要な活動など、様々な取組を検討していきたいと考えていますので、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。



会長行動（平成30年10月～12月）

9. 28 地域包括ケアシステム推進会議 出席
場所：いきいき那珂デイサービスセンター
10. 1 第4回理事会 出席
場所：良創夢 リハビリスポーツガーデン
10. 2 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
10. 7 第2回47都道府県委員会 出席
場所：TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
10. 8 第2回推進委員会（福岡県介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会） 出席
場所：TKP日本橋カンファレンスルーム
10. 12 九州ブロック会長会，合同士長会議，合同学会40周年記念式典 出席
場所：ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
10. 13 九州合同学会引継ぎ式，九州作業療法学会広報活動 出席
14 場所：沖縄コンベンションセンター
10. 15 確保基金研修 準備会議 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
10. 23 第11回九州作業療法学会準備委員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
10. 30 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会 出席
場所：福岡医健・スポーツ専門学校
11. 7 九州ホスピタルショウ2017 開会式 出席
場所：福岡国際会議場
11. 7 第2回福岡JRATミーティング 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
11. 15 第20回西日本国際福祉機器展 開会式 出席
場所：西日本総合展示場新館
11. 21 上半期中間監査 出席
場所：吉田公認会計士事務所
11. 22 三役会 出席
場所：福岡県作業療法協会事務局
11. 23 日本作業療法士会：中・上級臨床実習指導者講習会 出席
11. 24 場所：麻生リハビリテーション大学校
11. 28 第12回九州作業療法学会準備委員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
11. 30 福岡県病院協会 第2回リハビリテーション委員会 出席
場所：TKP博多駅筑紫ロビネスセンター

特集：作業療法士としての地域の関わり

～地域ケア個別会議から学び、実践してきたこと～

社会福祉法人周防学園 介護老人保健施設ほうらい山荘 後藤 真司

○はじめに

私の所属する法人（社会福祉法人周防学園）は、障害者支援事業と高齢者支援事業の2つのグループに分かれており、地域の福祉サービスを提供している。

高齢者支援事業グループでは在宅復帰・在宅療養支援を目的とした介護老人保健施設を中核に、認知症共同生活介護施設及び有料老人ホームの3つの施設サービスと通所リハビリテーションや訪問リハビリテーション等を含む6事業の在宅サービスを運営し、地域包括ケアシステムの構築を目指している。

地域リハビリテーション活動においては、地域貢献の一環として2002年より肩こり腰痛予防教室（現在の転倒予防教室）や地域の出前講座等を行っていた。

2015年4月より福岡県豊前市の地域ケア個別会議に参加する機会を得たためその経験と、地域への取り組みも交え報告する。

○地域紹介

豊前市は福岡県の東部、京築地域の南部にあり

大分県との県境近くに位置する。2018年12月の人口は25,655人であり、毎年減少している状況である。高齢者人口は65歳以上が9,123人（35.6%）、75歳以上が4,812人（18.7%）であり超高齢化社会を迎えている。

福岡県介護保険広域連合の豊築支部（豊前市、築上町、吉富町、上毛町）に属しており、1市3町の連携を取りながらも、それぞれの市町村の独自性を保ちつつ介護保険サービスが提供されている地域である。

○地域ケア会議の役割

地域ケア個別会議の前にまずは地域ケア会議について説明する。

地域ケア会議とは高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法である。

その手法の1つとして地域ケア個別会議があり、高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援や地域課題の把握等を行う場として位置付けられている。（図1参照）

地域ケア会議について

地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。

具体的には、地域包括支援センター等が主催し、

- 医療、介護等の多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。
- 個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化する。
- 共有された地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくり、さらには介護保険事業計画への反映などの政策形成につなげる。

地域包括支援センターでの開催
（高齢者の個別課題の解決）

- 多職種の協働による個別ケース（困難事例等）の支援を通じた
- ①地域支援ネットワークの構築
 - ②高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援
 - ③地域課題の把握
- などを行う。

《主な構成員》
自治体職員、包括職員、ケアマネジャー、介護事業者、民生委員、OT、PT、ST、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士その他必要に応じて参加

※直接サービス提供に当たらない専門職種も参加

地域課題の把握

地域づくり・資源開発

政策形成

介護保険事業計画等への位置づけなど

市町村での開催

（地域課題を解決するための社会基盤の整備）

図1 地域ケア会議について

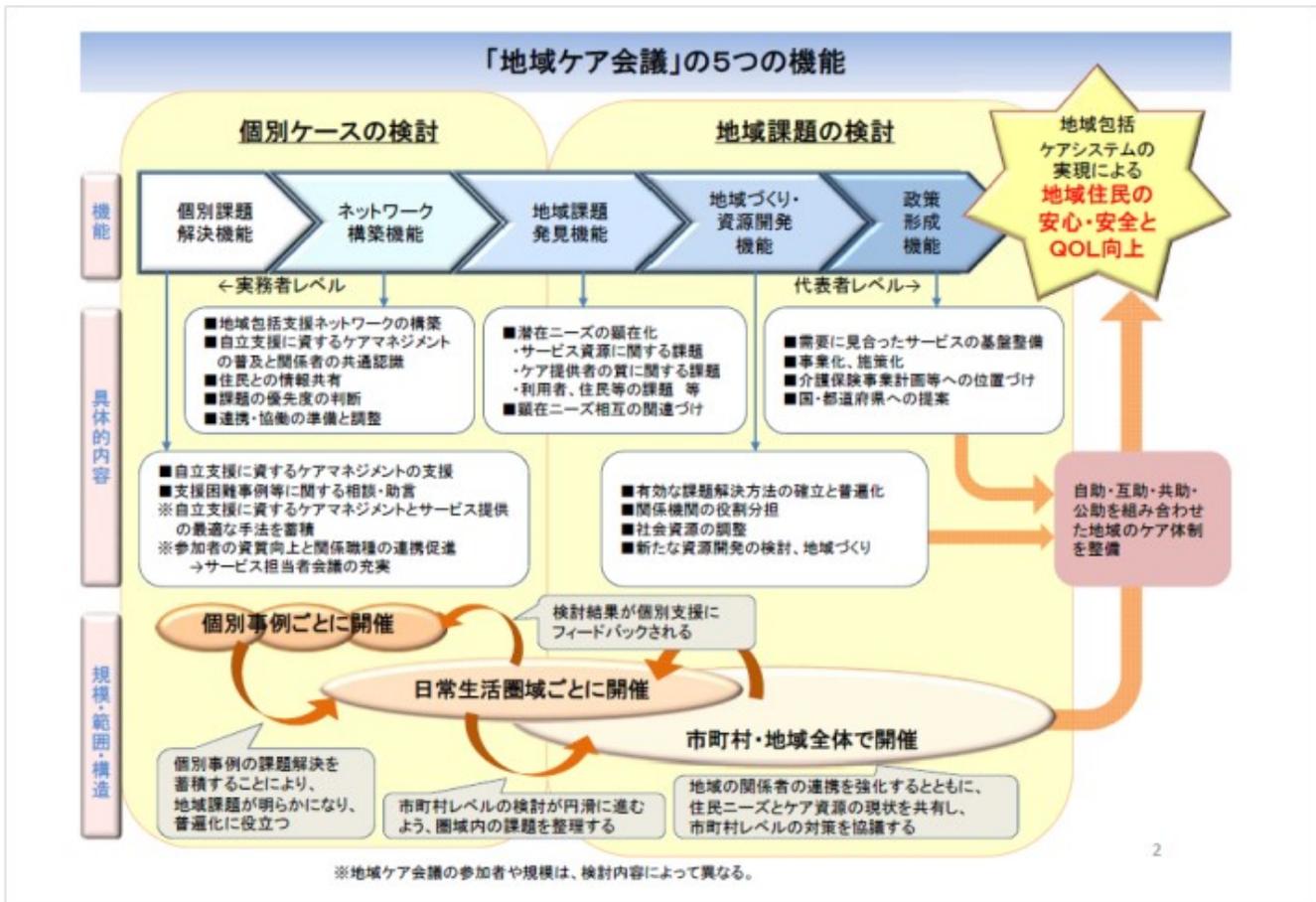


図2 地域ケア会議の5つの機能

○地域ケア個別会議について

・地域ケア個別会議の目的

厚生労働省が示している地域ケア個別会議の目的を図1及び図2から解釈されるように、個別のケースの検討を多職種協働によって行い、高齢者の個別課題解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するマネジメントの実践力を高めることが目的であることがわかる。

これらの資料をもとに豊前市では平成30年度の地域ケア個別会議の目的を以下の様に立てられている。

『自立支援・介護予防の観点から踏まえ、「要支援者等の生活行為の課題の解決等、状態の改善に導き、自立を促すこと」ひいては「高齢者のQOLの向上」を促す。地域ケア個別会議の目的である「高齢者のQOLの向上」の実現のため、本会議を活用し、多職種からの専門的な助言を得ることで、ケアマネジメントを実施し、高齢者の生活行為の課題等を明らかにし、介護予防に資するケアプラン作成とそのケアプランに即したケアの提供を行う』

上記のように地域ケア個別会議の位置付けや市町村の目的等を把握することで、作業療法士としての助言の方向性が明確化してくるのではないかとと思われる。

・構成員

豊前市では以下に記した助言者で構成されている。これに介護支援専門員及、サービス提供者、行政職員が参加し概ね15名程度で会議が実施される。

職 種	在 籍	人 数
保健師	地域包括支援センター	2
社会福祉士	地域包括支援センター	2
栄養士	豊前市健康長寿課	1
精神保健福祉士	認知症医療センター協力病院	1
作業療法士	介護老人保健施設 認知症医療センター協力病院	2
薬剤師	調剤薬局	1
歯科衛生士	歯科医師会	1

図3 助言者構成員

・事例の特徴

支援者が困難を感じているケース
支援が自立を阻害していると考えられるケース
必要な支援につながっていないケース
権利擁護が必要なケース
地域課題に関するケース

(厚生労働省の資料より)

作業療法士に助言を求められやすい事例は、支援が自立を阻害していると考えられるケース及び必要な支援につながっていないケースが多い。

・会議の頻度・流れ

豊前市では毎月1回、第3木曜日に開催され、1事例25分とし3事例実施される。1事例の流れは、①資料の読み込み(5分)②プラン作成者の概要説明(3分)③事業からサービス計画の説明(3分)④全参加者からの質問・意見(12分)⑤まとめ(2分)となっている。

利用者基本情報、課題整理総括表、サービス支援計画表の3枚の資料が準備されており、資料の読み込みが5分間と短い為、すばやく専門分野を把握する必要がある。読み込みの際、様々な疑問点に気を取られてしまうがポイントを絞って読み込むことが求められる。

特に課題整理総括表に記載されている「自立した日常生活の阻害因子」は、プラン作成者が事例のサービス支援計画の根拠とする項目であり、プラン作成者の意図を理解し、プランの整合性を確認する際に重要な情報である。

・作業療法士としての助言

課題整理総括表にある自立した日常生活の阻害因子はプラン作成者が感じた問題点であり、その根拠をもとにプラン作成者の「想い」がサービス支援計画となっている。その為、プラン作成者の「想い」を否定するのではなく、肯定的な意見を述べてから助言を行うように心がけている。サービス支援計画の精度は様々であるが、プラン作成者の意図を尊重すべきことを忘れず、「想い」を達成する為の助言が我々の役割だと考える。

筆者が参加している地域ケア個別会議は、本年度よりサービス提供事業所の参加が始まったばかりである為サービス事業所の意識も低く、プラン作成者の目的を満たしていないサービス提供も多くみられる。質疑応答を重ねるうちにサービス事業所は、「やらない」のではなく「できない」若しくは「やり方がわからない」のではないかと考える。

質疑応答にて「できない」「やり方がわからない」を見定め、諸事情により「できない」状況に

ある場合は、最低限の助言を行い検討して頂くように促し、「やり方がわからない」事業所には、筆者が考える具体的手法を数パターン助言し、実施できそうな内容を選択できるような助言を心がけている。

また、プラン作成者やサービス提供者の努力を称賛することも大切である。全国的にも地域的にも労働者が慢性的に不足している中で頑張っている両者の努力をみつけ、称賛することで更なるモチベーション及びスキルアップの向上に繋がるような助言が出来ればと思うところである。

【地域ケア個別会議で学び、実践してきたこと】

平成11年より豊前市の肩こり腰痛予防教室(現在の転倒予防教室)に参加し、地域支援を行っていたが、どのように地域リハビリテーション活動を実施していけば良いか分からなかったのが本音である。また、地域からの依頼で転倒予防体操等の出前講座を行ったりしていたが、「点」の活動であり「線」になることがなかった。平成27年より地域ケア個別会議に参加することで、行政や多職種との連携が深まると地域に何が不足しているかが徐々にわかり始めた為、微力ながら実施してきたことを以下に報告する。

1) 認知症カフェ

行政・地域住民・当法人の支援を受け、平成28年5月に認知症支援ボランティア団体「オレンジ」設立し、近隣の公民館で毎月1回11:00~13:00まで認知症カフェを運営している。利用の平均利用人数は5名程度である。

開始当初は当施設からの支援者6名のみで行い運営していたが、現在は当法人の障害者支援グループ及び他法人の児童発達支援事業所の生徒の社会参加活動の一環として参加して頂き、10名のスタッフで運営している。(当施設からは3名)

活動内容は一緒に軽食を作るスタイルを多く用いているが、特に制限は定めていない。昨年は豊前市の地域包括支援センターより協力頂き、認知症サポーター養成講座を実施も実施した。



認知症サポーター養成講座



オリジナルバーガー作り

手探りの状況で始めた認知症カフェであったが、認知症の家族を支援する方からの相談だけでなく、独居の方の体調不良や家族の介護についての困り事等、様々な理由の相談があがってきており、最寄り相談所的な役割も担ってきている。

運営時間の過ごし方には試行錯誤した。当初はアクティビティ等を行わず自由に過ごして頂くこと念頭に実施していたが、利用者もスタッフもリラックスした状態が保てずにいた。その為、現在はなんらかの活動を導入することで、利用者もスタッフも笑顔が多くみられるようになり会話が弾んでいる。

3年目を迎えて感じたことは、運営内容も大切であるが継続することがより重要であるということだ。現在では、共生型の認知症カフェとして地域の方からも応援して頂いている。

2) 一般介護予防事業における地域リハビリテーション活動支援事業

平成29年度より当施設と豊前市との委託契約を行い実施している事業である。要支援・要介護状態以外の高齢者を対象とした事業であり、1事例つき訪問回数は3回までとなっている。高齢者に関しては介護認定を受けておらず、なおかつ一時的な虚弱状態やリハビリテーションを実施していない病院から退院した方に対し、住宅環境調整や運動指導等を実施している。

対象者の制限があり依頼件数も少ない状況であるが、急を要する事例である為早期対応を心掛けている。又、特定福祉用具の購入費の支給や福祉用具貸与も実施できないため、悩める場面が多くある。

～なぜ「訪問C」でないのか～

現在、豊前市では「訪問C」の事業が実施されていない。当法人より企画を持ち込んだが困難であった。このようなやり取りをしていると、行政の担当者より救いの手があり、一般介護予防事業

の地域リハビリテーション活動支援事業にて実施可能となった。

但し、訪問Cと異なる点があり対象者が要支援者と要介護者を含まないという条件であった。かなり対象者の範囲が狭くなる為、実績は数少ないが地域へのリハビリテーションの啓発活動として実施している。

○まとめ

ここまで筆者の勉強不足もあり個人的な解釈で、不適切な内容があった場合はご容赦願いたい。地域ケア個別会議の助言者に関しては、作業療法の概念を一方向的に専門的知見のみ唱えるのではなく、より現実的な手法や工程も踏まえた現実味のある助言ができるようにありたいと筆者は思う。

地域活動においては必要性を感じ勢いそのまま動いた結果であるが、認知度も高まり地域に貢献できていること素直にうれしく思っている。またこれらの地域活動は筆者や作業療法士だけでなく、当法人の職員はもとより地域包括支援センター及びNPO法人などの職員の皆様のご理解やご協力のもと実現できたことは言うまでもなく、深く感謝しお礼申し上げます。

参考文献)

地域包括ケアシステムにおける 地域ケア会議の役割について

地域ケア会議運営マニュアル

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）

地域ケア会議フローチャート

（すべて厚生労働省の資料）

平成30年度第2回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録

- I. 開催日 : 平成30年6月10日(日) 11時50分～14時20分
- II. 場所 : 公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所
- III. 理事総数 : 20名
- IV. 出席理事数 : 18名
- V. 出席者氏名 : 竹中祐二, 濱本孝弘, 佐藤稔, 平岡敏幸, 深町晃次, 青山克実, 宮本香織, 有久勝彦, 許山勝弘, 永田敬生, 手島智康, 田中聡, 峯崎佳世子, 黒木勝仁, 玉野和男, 轟木健市, 松尾雅宣, 舩井剛士(以上, 理事). 吉田秀樹, 原口健三(以上, 監事). 鐘ヶ江秀俊, 藤崎実知子(以上, 事務局) 志井田太一, 中川昇(相談役)
- 欠席者氏名 : 福田裕樹, 深井伸吾(以上, 理事) 田邊慎一(以上, 事務局)(敬称略)
- VI. 審議事項
- 社員総会後の代表理事・業務執行理事・事務局長の選任について(竹中代表理事) →承認
社員総会終結後, 以下のように選任することが報告.
代表理事 竹中祐二氏
業務執行理事 濱本孝弘氏
佐藤稔氏
事務局長 平岡敏幸氏
 - ジャーナル「作業療法・福岡」第17号の執筆依頼について(有久学術部担当理事) →承認
以下のように執筆依頼することを報告.
巻頭言 恵良裕一氏(第22回福岡県作業療法学会会長)
特集 丹羽敦氏(広島都市学園大学)
 - 特別支援教育対策推進委員会の会議参加者承認について(濱本業務執行理事) →承認
以下のように会議参加者の提案があったと報告.
早川就氏(福岡県教育庁 教育振興部義務教育課特別支援教育室指導主事)
多々野頭氏(福岡県立福岡特別支援学校)
 - 出納管理規定(原案)の提示と検討について(手島規約委員会担当理事) →継続検討
協会出納管理規定の整理作成を行うことが提案.
 - 北九州市立介護実習・普及センター指定管理者募集制度への参入について(田中企画委員会担当理事) →継続検討
北九州市立介護実習・普及センター指定管理者募集制度への参入について提案.
 - 会員向け福利厚生事業について(深町福利部担当理事) →承認
平成30年度の会員向け福利厚生事業として以下のように提案.
利用施設 : ハーモニーランド
招待期間 : 平成30年7月14日(土)～平成30年8月31日(金)
対象 : 協会員とご家族
チケット : 650円(通常2,900円)
 - 福利厚生事業としての「団体生活介護保険」導入について(深町福利部担当理事) →継続検討
県協会の「団体生活介護保険」導入について提案.
 - 福岡ブロック研修会講師承認について(黒木福岡ブロック担当理事) →承認
以下のように講師依頼することが報告.
斎藤ミキ氏(福岡リハビリテーション病院 管理栄養士)
 - 福岡東ブロック研修会講師承認について(松尾福岡東ブロック担当理事) →承認

以下のように講師依頼することが報告.

香月真氏 (シティケア長住)

飯塚恵津子氏 (倉光病院)

10. 北九州ブロック研修会について (玉野北九州ブロック担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
原麻里子氏 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部)
11. 九州ブロック研修会について (玉野北九州ブロック担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
櫻木美穂子氏 (福祉用具プラザ北九州)
12. 教育部研修会について (青山教育部担当理事) →承認
現職者教育研修会 (老年期) について以下のように講師を依頼することが報告.
安本勝博氏 (津山市子ども保健部健康増進課主幹)
三村和礼氏 (株アクティブ・ライフ・サポート)
安藤栄二氏 (株式会社 RINSHO)
平岡敏幸氏 (医療法人豊永会 飯塚記念病院)
田中聡氏 (株式会社リライブ)
13. 保健福祉部研修会について (濱本業務執行理事) →承認
以下のように認知症アップデート研修講師依頼の提案があったと報告.
都甲幹太氏 (介護老人保健施設あやめの里)
14. 会員の入会について (平岡事務局長) →承認
平成30年4月2日から平成30年6月2日までの間に79名の入会があった.

VII. 協議事項

15. 各部の規定・規程の規約委員会での整理について (手島規約委員会担当理事) →継続検討
各部の規定・規程を規約委員会で整理することについて提案.

VIII. 報告事項 (特記報告のみ記載. 他, 資料参照とする)

16. 代表理事行動について (竹中代表理事)
平成30年4月~6月の代表理事行動について報告.
17. 県協会宛て依頼案件について (竹中代表理事)
平成30年4月1日から5月31日までの間に県協会宛てに31件の依頼 (研修会案内依頼3件, 講師・委員派遣依頼23件, 共催・講演依頼4件, その他依頼1件) があったとの報告.
18. 電子会員証および研修受講カードの取り扱い及び会員への周知について (青山教育部担当理事)
日本作業療法士協会の電子会員証および研修受講カードについて, バルコードシステム等の未整備などの問題もあり, 今年度に限り県協会では電子会員証が提示できない場合は研修受講カードまたは年会費納入領収書の提示で可能とし, 県協会ホームページ等で会員への周知を図ることの報告.
19. ジャーナル「作業療法・福岡第17号」について (有久学術部担当理事)
ジャーナルの編集・企画の進捗状況について報告.

IX. 次回開催日

平成30年度 臨時理事会

日時: 平成30年7月19日 (木) 19:00~ 場所: 福岡県作業療法協会事務所

平成30年度 第3回理事会

日時: 平成30年8月6日 (月) 19:00~ 場所: 福岡医健・スポーツ専門学校

平成30年度公益社団法人福岡県作業療法協会臨時理事会議事録

- I. 開催日 : 平成30年7月19日(木) 19時00分～21時00分
II. 場所 : 良創夢 リハビリスポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 16名
V. 出席者氏名 : 竹中祐二, 濱本孝弘, 佐藤稔, 平岡敏幸, 深町晃次, 青山克実, 宮本香織, 有久勝彦, 許山勝弘, 永田敬生, 手島智康, 田中聡, 峯崎佳世子, 玉野和男, 松尾雅宜, 榎井剛士(以上, 理事) 吉田秀樹(以上, 監事) 中川昇(以上, 相談役) 田邊慎一, 鐘ヶ江秀俊(以上, 事務局)
欠席者氏名 : 福田裕樹, 深井伸吾, 黒木勝仁, 轟木健市(以上, 理事) 原口健三(以上, 監事) 志井田太一(以上, 相談役) (敬称略)

VI. 審議事項

1. 平成30年7月西日本豪雨被災会員の平成30年度会費免除申請手続きについて
(竹中代表理事) →一部修正の上, 承認
日本作業療法士協会の規定に準じて平成30年7月西日本豪雨被災会員の平成30年度会費免除申請手続きについて提案.
2. 教育部主催研修会における講師承認について(青山教育部担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
多々野顕氏(福岡県立福岡特別支援学校)
高橋知義氏(株式会社 LikeLab)
3. 教育部主催 精神分野研修会における講師承認について(青山教育部担当理事) →継続検討
会員詳細確認の為, 継続検討.
4. 教育部主催 身体分野研修会における講師承認について(青山教育部担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
飯田真也氏(産業医科大学病院)
中津留正剛氏(産業医科大学病院)
5. 認知症アップデート研修における講師承認について(平岡事務局長) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
都甲幹太氏(介護老人保健施設あやめの里)
島本和孝氏(久留米リハビリテーション学院)
平岡敏幸氏(飯塚記念病院)
青山克実氏(麻生リハビリテーション大学校)
6. 筑後ブロック八女筑後地区研修会の講師承認について(佐藤業務執行理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
室岡真弘氏(特別養護老人ホーム木もれ日苑)

VII. 協議事項

7. 北九州市立介護実習・普及センター 指定管理者募集について(田中企画委員会担当理事)
北九州市立介護実習・普及センター指定管理者募集について報告. →継続検討

VIII. 報告事項(特記報告のみ記載. 他, 資料参照とする)

8. 代表理事行動について(竹中代表理事)
平成30年6月～7月の代表理事行動について報告があった.

9. 県協会宛て依頼案件について（竹中代表理事）

平成30年6月10日から7月18日までの間に県協会宛てへの10件の依頼（研修会案内依頼1件、講師・委員派遣依頼2件、共催・講演依頼3件、その他依頼4件）の報告があった。

10. 指定管理者制度について（吉田秀樹監事）

指定管理者制度についての意義、委託方式、委託契約、運営上の問題点等の報告があった。

IX. 次回開催日

平成30年度 第3回理事会

日時：平成30年8月6日（月）19：00～

場所：福岡医健・スポーツ専門学校



国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

福岡キャンパス（福岡県福岡市）

大川キャンパス（福岡県大川市）

医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻
作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／医療福祉教育・管理分野／災害医療分野／遺伝カウンセリング分野 など

医療福祉経営専攻
医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野／医療通訳・国際医療マネジメント分野 など

博士課程

保健医療学専攻
作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／福祉支援工学分野／医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野 など

修了者数

修士課程	（平成12～29年度）	
■保健医療学専攻		1,821名
・作業療法学分野		130名
■医療福祉経営専攻		654名
博士課程	（平成15～29年度）	
■保健医療学専攻		282名
・作業療法学分野		10名

主な講師陣

●作業療法学分野	杉原素子教授	●言語聴覚分野	深浦順一教授
●理学療法学分野	丸山仁司教授	●災害医療分野	石井美恵子教授
●遺伝カウンセリング分野	四元淳子講師	●医学研究科	三浦総一郎教授(大学院長)、辻省次教授

◆多くの授業を平日夕方以降と土曜日に開講。eラーニング科目も充実

◆福岡・大川・大田原・成田・東京赤坂・小田原・熱海に7つのキャンパスを設置

◆医療福祉における第一人者の講義を、複数のキャンパスで受講できる「同時双方向遠隔授業システム※」

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものがありますので、詳細につきましてはお問い合わせください

*修士課程は、短大・専門学校を卒業した満22歳以上の方も出願可能

2018年4月、東京赤坂キャンパス開設

医療福祉学研究科(分野新設)

- ・災害医療分野
- ・遺伝カウンセリング分野

医学研究科(研究科新設)

東京都港区の旧赤坂小学校跡地に東京赤坂キャンパスを開設しました。公衆衛生学専攻と医学専攻からなる「医学研究科」をはじめ、新分野・コースを開設し、生涯教育の拠点として大学院教育をさらに充実させます。

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

国際医療福祉大学大学院

URL <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

<p>福岡キャンパス</p> <p style="font-size: x-small;">〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-4-16 TEL 092-407-0434 E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp</p>	<p>大川キャンパス</p> <p style="font-size: x-small;">〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1 TEL 0944-89-2000 E-mail oocamp@iuhw.ac.jp</p>
--	--



平成30年度第3回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録

- I. 開催日 : 平成30年8月6日(月) 19時00分～22時00分
II. 場所 : 福岡医健スポーツ専門学校
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 19名
V. 出席者氏名 : 竹中祐二, 瀨本孝弘, 佐藤稔, 平岡敏幸, 深町晃次, 青山克実, 宮本香織, 有久勝彦, 許山勝弘, 永田敬生, 手島智康, 田中聡, 峯崎佳世子, 黒木勝仁, 玉野和男, 轟木健市, 松尾雅宜, 福田裕樹, 深井伸吾 (以上, 理事)
中川昇 (以上, 相談役) .
田邊慎一, 鐘ヶ江秀俊 (以上, 事務局) .
欠席者氏名 : 靱井剛士 (以上, 理事) 吉田秀樹, 原口健三 (以上, 監事) . (敬称略)

VI. 審議事項

1. 「平成30年7月豪雨」災害における支援金・義援金拠出について (竹中代表理事)
平成30年7月豪雨災害における岡山県士会・広島県士会への支援金・義援金拠出について
当県士会では会員数×50円の金額での対応を提案。金額の追記等, →一部修正の上, 承認
2. ジャーナル「作業療法・福岡」第17号の執筆依頼について (有久学術部担当理事) →承認
以下のように執筆を依頼することが報告。
特集 小林幸治氏 (目白大学)
3. 出納管理規程(原案)の提示と検討について (手島規約委員会担当理事) →継続検討
前回, 継続検討となった協会出納管理規定の進捗状況についての報告。
4. 精神分野研修会講師承認について (青山教育部担当理事) →承認
以下のように講師依頼することが報告。
中山広宣氏 (九州保健福祉大学 特任教授)
5. 現職者共通研修講師承認について (青山教育部担当理事) →承認
以下のように講師依頼することが報告。
鐘ヶ江秀俊氏 (ひなた家)
日下部修氏 (福岡医健・スポーツ専門学校)
河野修氏 (東和病院)
平岡敏幸氏 (飯塚記念病院)
平賀勇貴氏 (福岡リハビリテーション病院)
靱井剛士氏 (らそうむ内科リハビリテーションクリニック)
長城晃一氏 (北九州市小倉北区役所)
松野豊氏 (国際医療福祉大学)
大丸幸氏 (九州栄養福祉大学)
6. 筑後ブロック研修会講師承認について (轟木筑後ブロック担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
川原大和氏 (筑後市立病院)
7. 福岡ブロック研修会講師承認について (黒木福岡ブロック担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
長尾哲男氏 (日本作業療法協会監事)

8. 福岡市南部地区研修会講師承認について（黒木福岡ブロック担当理事） →承認
 以下のように講師を依頼することが報告。
 久野良浩氏（福岡脳神経外科病院）
9. 福岡県県民健康づくりセミナー講師承認について（黒木福岡ブロック担当理事） →承認
 以下のように講師を依頼することが報告。
 真鳥伸也氏（樋口病院訪問リハビリテーション）
10. 福岡東ブロック研修会講師承認について（松尾福岡東ブロック担当理事） →承認
 以下のように講師を依頼することが報告。
 岩野歩氏（コールメディカル 医師）
 坂口聡子氏（コールメディカル）
11. 筑豊ブロック研修会講師承認について（萩井筑豊ブロック担当理事） →承認
 以下のように講師を依頼することが報告。
 萩井剛士氏（らそうむ内科リハビリテーションクリニック）
 高野健太氏（田川新生病院）
 上田元紀氏（直方病院）
 福田寛徳氏（飯塚記念病院）
 香月隆宏氏（良創夢訪問看護ステーション）
 手嶋雄太氏（嘉麻良創夢デイサービスセンター）
12. 筑豊ブロック研修会講師承認について（萩井筑豊ブロック担当理事） →承認
 以下のように講師を依頼することが報告。
 安田由美氏（デイサービスゆみ）
 原田琴枝氏（飯塚氏居宅介護支援事業所連絡協議会会長）
 宮本香織氏（夢結らそうむリハビリテーションセンター）
13. 北九州ブロック研修会講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
 以下のように講師を依頼することが報告。
 田中聡氏（リハデイ吉木）
 都甲幹太氏（あやめの里）
14. 会員の入会について（平岡事務局長） →承認
 会員の入会について平成30年6月3日から7月28日までの間に88名の入会があったとの
 報告があった。
15. 北九州市立介護実習・普及センター指定管理者について
 （田中企画委員会担当理事） →継続検討
 北九州市立介護実習・普及センター指定管理者について報告。予算の詳細等、検討。

VII. 協議事項

16. 新規事業「コア研修会」の提案について（青山教育部担当理事） →継続検討
 新規事業「コア研修会」について提案。予算等の詳細検討し、次回審議事項での提出。
17. 福岡マラソン2018におけるボランティア募集について（永田事業部担当理事） →承認
 福岡マラソン2018におけるボランティア募集について提案。

18. 日本作業療法士協会および関連団体からの「表彰制度」についての推薦に対する判断と承認について(手島規約委員会担当理事) →承認
日本作業療法士協会および関連団体からの「表彰制度」についての推薦に対する判断と承認について報告.

19. 生活行為工夫情報モデル事業 法人著作化協力依頼について(平岡事務局長) →承認
生活行為工夫情報モデル事業 法人著作化協力依頼(日本作業療法士協会福祉用具対策委員会依頼)について報告.

VIII. 報告事項(特記報告のみ記載. 他, 資料参照とする)

20. 代表理事行動について(竹中代表理事)
平成30年6月~8月の代表理事行動について報告があった.

21. 県協会宛て依頼案件について(竹中代表理事)
平成30年6月1日から7月31日までの間に県協会宛てに33件の依頼(研修会案内依頼5件, 講師・委員派遣依頼11件, 共催・講演依頼7件, その他依頼10件)があったとの報告があった.

IX. 次回開催日

平成30年度 第4回理事会

日時: 平成30年10月1日(月) 19:00~

場所: らそうむりハビリスportsガーデン



平成30年度第4回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録

I. 開催日 : 平成30年10月1日(月) 19時00分～21時30分

II. 場所 : 良創夢 リハビリスポーツガーデン

III. 理事総数 : 20名

IV. 出席理事数 : 19名

V. 出席者氏名 : 竹中祐二, 濱本孝弘, 佐藤稔, 平岡敏幸, 深町晃次, 青山克実, 宮本香織, 有久勝彦, 許山勝弘, 永田敬生, 手島智康, 田中聡, 峯崎佳世子, 黒木勝仁, 玉野和男, 轟木健市, 松尾雅宜, 深井伸吾, 榎井剛士(以上, 理事).

中川昇(以上, 相談役)

田邊慎一, 鐘ヶ江秀俊(以上, 事務局).

欠席者氏名 : 福田裕樹(以上, 理事) 吉田秀樹, 原口健三(以上, 監事). (敬称略)

VI. 審議事項

1. 新規事業「コア研修会」の提案について(青山教育部担当理事) →承認
来年度の新規事業「コア研修会」の提案.
2. 福利厚生事業として「団体生活介護保険」導入について(深町福利部担当理事) →継続検討
福利厚生事業としての「団体生活介護保険」導入についての提案. 予算や会員へのサービス内容等, 再検討の必要あり.
3. 福岡県作業療法協会ホームページリニューアルについて(許山広報部担当理事) →承認
福岡県作業療法協会ホームページリニューアルについての提案.
4. 2019年度事業計画・予算について(平岡事務局長) →継続検討
2019年度事業計画と予算についての報告. 企画委員会提案の指定管理事業について現在申請中の為, 申請結果後に再検討実施.
5. 出納管理規程(原案)の提示と検討について(手島規約部担当理事) →継続検討
出納管理規程の提示と検討についての報告.
6. 旅費規程について(手島規約部担当理事) →継続検討
「旅費規程」の見直しについての提案があった.
7. 教育部発達分野研修会講師承認について(青山教育部担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
岩永竜一郎氏(長崎大学教授)
8. 筑後ブロック分野別研修会講師承認について(轟木筑後ブロック担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
池田裕弥氏(八女リハビリ病院)
木村伸一郎氏(いきいき久富リハビリケア)
渡邊真里子氏(ちはやACTクリニック 院長)
西島和秀氏(医療型障害児入所施設・療養介護 医療福祉センター聖ヨゼフ園)
9. 福岡ブロック研修会講師承認について(黒木福岡ブロック担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
中島純二氏(今宿病院)
船谷俊彰氏(Panasonic エイジフリーショップ株式会社)
黒木勝仁氏(原三信病院)
木村太郎氏(誠愛リハビリテーション病院)

辰巳茂樹氏（福岡リハビリテーション病院）
楠瀬優希氏（太宰府市 健康福祉部 高齢者支援課）
野口健太氏（新室見診療所 訪問リハ）
黒田隆之氏（アイエック訪問看護ステーション）
真鳥伸也氏（樋口病院）
日高健二氏（桜十字福岡病院）
江原公洋氏（からぎステーション）

10. 福岡東ブロック研修会講師承認について（松尾福岡東ブロック担当理事） →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
田中元氏（医療法人恵愛会福岡病院）
原麻里子氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）
11. 北九州ブロック研修会講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
下門範子氏（北九州総合病院）
12. ハートメディア講演会講師承認について（永田事業部担当理事） →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
西脇俊二氏（ハタイクリニック院長）
13. 三士会合同実務者研修会講師の承認について（濱本業務執行理事） →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
井上登太氏（みえ呼吸嚥下リハビリクリニック 医師）
柴口里則氏（株式会社グリーンケア 日本介護支援専門員協会会長）
内田正剛氏（株式会社くますま 熊本県作業療法協会 会長）
14. 会員の入会について（平岡事務局長） →承認
会員の入会について平成30年7月29日から9月12日までの間に49名の入会があったとの報告があった。
15. 西日本福祉機器での講師承認について（田中企画委員会担当理事） →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
佐藤稔氏（株式会社シダー）

VII. 協議事項

16. 第23回福岡県作業療法学会 学会長選定の件について（有久学術部担当理事） →承認
第23回福岡県作業療法学会学会長について以下のように報告があった。
黒田隆之氏（アイエック訪問看護ステーション）
17. 作業療法・福岡の印刷業者の選定について（有久学術部担当理事）
→中澤印刷（長野）にて承認
ジャーナル作成における印刷業者の選定についての報告。

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載．他，資料参照とする）

18. 代表理事行動について（竹中代表理事）

平成30年8月～9月の代表理事行動について報告があった．

19. 県協会宛て依頼案件について（竹中代表理事）

平成30年8月1日から9月22日までの間に県協会宛てに42件の依頼（研修会案内依頼7件，講師・委員派遣依頼17件，共催・講演依頼5件，その他依頼13件）があったとの報告があった．

20. アルバイト，コメンテーター謝金について（平岡事務局長）

アルバイト賃金を平成30年10月1日の最低賃金改定に基づき，820円に変更することの報告があった．また，事例報告検討会のコメンテーターは規約集謝金規定の実習・実技規定に基づき時給1200円で支給することの報告があった．

IX. 次回開催日

平成30年度 第5回理事会

日時：平成30年12月3日（月）19：00～

場所：らそうむりハビリスportsガーデン



平成30年度第5回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録

- I. 開催日 : 平成30年12月3日(月) 19時00分～22時00分
II. 場所 : 良創夢 リハビリスポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 17名
V. 出席者氏名 : 竹中祐二, 瀨本孝弘, 福田裕樹, 平岡敏幸, 深町晃次, 青山克実, 宮本香織, 有久勝彦, 許山勝弘, 永田敬生, 手島智康, 田中聡, 峯崎佳世子, 黒木勝仁, 玉野和男, 松尾雅宜, 萩井剛士(以上, 理事).
田邊慎一, 鐘ヶ江秀俊(以上, 事務局).
志井田太一, 中川昇(以上, 相談役)
欠席者氏名 : 佐藤稔, 轟木健市, 深井伸吾(以上, 理事)
吉田秀樹, 原口健三(以上, 監事). (敬称略)

VI. 審議事項

1. 2019年度事業計画・予算について(平岡事務局長) →承認
2019年度事業計画・予算について報告.
2. 2019年度百万人の介護予防事業の委託について(田中企画委員会担当理事) →承認
2019年度百万人の介護予防事業(体操の直接指導, 普及教室の運営補助や指導員育成等)の委託について提案.
3. 現職者共通研修講師承認について(青山教育部担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
鐘ヶ江秀俊氏(ひなた家)
木下亮平氏(北九州リハビリテーション学院)
百武光一氏(福岡大学病院)
許山勝弘氏(福岡リハビリテーション病院)
中津留正剛氏(産業医科大学病院)
萩井剛士氏(らそうむ内科クリニック)
有久勝彦氏(国際医療福祉大学)
永田敬生氏(福岡医健・スポーツ専門学校)
石橋英恵氏(国際医療福祉大学)
4. 福祉用具研修会講師承認について(瀨本業務執行理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
熊添潤一氏(株式会社ハイライフ福祉事業センター)
町田真一郎氏(アイエック訪問看護ステーション)
5. 第5回福岡ブロック研修会講師承認について(黒木福岡ブロック担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
京極真氏(吉備国際大学)
6. 第9回福岡東ブロック研修会講師承認について(松尾福岡東ブロック担当理事) →承認
以下のように講師を依頼することが報告.
木下洋平氏(福岡青洲会病院)
7. 福岡東ブロック地域ケア会議助言者育成研修講師承認について
(松尾福岡東ブロック担当理事) →承認
以下のようにファシリテーター・講師を依頼することが報告.

近重諒氏（福岡青洲会病院）
佐野功一氏（水光会 訪問看護ステーション）
長野久美子氏（介護老人施設 水光苑）
照平美保氏（赤間病院）

8. 第6回筑豊ブロック研修会講師承認について（靱井筑豊ブロック担当理事） →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
土田玲子氏（特定非営利活動法人なごみの杜代表理事）
9. 北九州ブロック研修会講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下のように講師・シンポジストを依頼することが報告。
赤津嘉樹氏（小倉リハビリテーション病院 医師）
シンポジスト：中山卓也氏（小倉リハビリテーション病院 PT）
劉濤氏（福岡みらい病院）
10. 保険委員会主催研修会講師承認について（福田保険委員会担当理事） →承認
以下のように講師を依頼することが報告。
濱本孝弘氏（福岡県作業療法協会副会長）
安永昌徳氏（放課後デイ ぱれっと）
11. 九州作業療法士会長会主催（リーダー養成研修会）の参加者推薦について →承認
（玉野和男北九州ブロック担当理事）
「合同研修会」災害関連において以下の参加者を推薦することが報告。
大島昂士氏（小倉リハビリテーション病院）
12. 飯塚市、嘉麻市、桂川町 在宅医療介護連携推進事業 運営協力依頼について →承認
（靱井筑豊ブロック担当理事）
体力測定ブースの運営協力として以下9名の会員を派遣することが報告。
手嶋雄太氏（らそうむデイサービスセンター）
坂本花鈴氏（松岡病院）
石橋恭兵氏（松岡病院）
栗原翔太氏（飯塚病院）
原口翔悟氏（飯塚病院）
平岡敏幸氏（飯塚記念病院）
福田寛徳氏（飯塚記念病院）
藤村佳月氏（飯塚記念病院）
西本友洋氏（飯塚記念病院）
13. 正会員の入会について（平岡事務局長） →承認
会員の入会について平成30年9月13日から11月15日までの間に53名の入会があった。
14. 平成30年度福岡県作業療法協会表彰者の推薦と決定について →承認
（手島規約委員会担当理事）
以下のように、推薦することが報告。
（協会表彰候補者）
濱本孝弘氏（医療福祉センター聖ヨゼフ園）
曾根川達司氏（北九州市総合療育センター）
福田裕樹氏（新やなぎクリニック）
（功労表彰候補者）

VII. 協議事項

15. 県協会の入会促進に関する県協会の対応と対策について（青山教育部担当理事）→継続検討
県協会の入会促進に関する県協会の対応と対策について報告。会員へのアンケートの実施検討や研修会の企画検討等，対応作りを進めていく。
16. 第1回九州作業療法学会講演における司会の協力について（有久学術部担当理事）→承認
第1回九州作業療法学会の講演における司会について理事への協力依頼報告。
17. 県協会LINE@（ラインアット）の取得について（許山広報部担当理事）→承認
今後の会員への新たな広報・連絡ツール県協会LINE@（ラインアット）の取得についての提案があった。対応方法など検討を進めていく。
18. 日本作業療法士協会 生涯教育制度受講登録（バーコード登録）について →承認
（青山教育部担当理事）
2019年度4月からの導入（予定），説明会実施においての報告と各部・ブロックからのシステム責任者・当日担当者の選定依頼があった。

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。他，資料参照とする）

19. 代表理事行動について（竹中代表理事）
平成30年10月～12月の代表理事行動について報告。
20. 県協会宛て依頼案件について（竹中代表理事）
平成30年10月1日から11月30日までの間に県協会宛てに37件の依頼（研修会案内依頼8件，講師・委員派遣依頼14件，共催・講演依頼2件，その他依頼13件）報告。
21. 中間監査報告について（平岡事務局長）
平成30年11月13日実施の中間監査（上半期事業・決算）について指摘事項等の報告。
22. 北九州市立介護実習・普及センター指定管理者事業の結果通知（田中企画委員会担当理事）
来年度の新規事業として提案していた指定管理者事業の結果通知について不指定結果報告があった。

IX. 次回開催日

平成30年度 第6回理事会

日時：2019年2月17日（日）11時00分

場所：らそうむりハビリススポーツガーデン

各部・委員会からのお知らせ

【保健福祉部】

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 30年度第3回地域包括ケアシステム推進会議

- ①日時：平成30年9月28日（金）
- ②場所：いきいき那珂デイサービスセンター
- ③出席者：平岡敏幸，田中聡，黒田隆之，
佐野功一，長野久雄，靱井剛士，
黒木勝仁，玉野和男，轟木健市，
深井伸吾

- ④内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動
予定について

(2) 30年度第4回地域包括ケアシステム推進会議

- ①日時：平成30年11月21日（水）
- ②場所：いきいき那珂デイサービスセンター
- ③出席者：田中聡，黒田隆之，佐野功一，
長野久雄，靱井剛士，黒木勝仁，
玉野和男，轟木健市，松尾雅宣，
志井田太一，深井伸吾

- ④内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動
予定について

(3) 30年度第4回特別支援教育対策企画会議

- ①日時：平成30年9月26日（水）
- ②場所：麻生リハビリテーション大学校
- ③出席者：曾根川達司，渡邊直美，藤川
貴子，鬼塚みゆき，武藤美智恵，
平石歩

- ④内容：30年度活動計画，研修企画検討

(4) 30年度第2回認知症アップデート研修会

- ①日時：平成30年12月9日（日）
- ②場所：北九州市立男女共同参画センター
ムーブ 大セミナーホール
- ③内容：認知症アップデート研修
- ④参加者：70名

【教育部】

1. 電子会員証および研修受講カードの取り扱いについて

今年度から導入された電子会員証および日本作業療法士協会 会員ポータルサイトの周知が不十分なこと，バーコードシステムとその周辺機器の未整備なため，電子会員証の手続きが混乱することが必至だと推察されるため，県協会として以下の通り対応を統一した。

今年度に限り，日本作業療法士協会会員であることが参加要件の研修会等の際に，電子会員証が提示できない会員の方は，研修受講カードの提示でも受け付けることとした。

2. 主催研修会報告

1) 精神分野研修

日時：30年10月27日（土）

場所：A.R.Kビル貸会議室 大ホール2階

テーマ：「作業療法における対象者の理解と
治療関係について」

講師：中山広宣（九州保健福祉大学特任教授）

参加者：36名

2) 身体分野研修

日時：30年11月4日（日）

場所：聖マリア学院大学

テーマ：FIMについて

講師：飯田真也（産業医科大学病院）

中津留正剛（産業医科大学病院）

参加者：29名

3) 地域分野研修

日時：平成30年11月11日（日）

場所：リファレンス大博多会議室

テーマ：「地域コミュニティ創生・再生の
ための，リハビリテーション専門
職に求められている視点・役割」

講師：安本勝博（津山市こども保健部健康
増進課主幹）

三村和礼（アクティブ・ライフ・サポー
ト代表取締役）

参加者：11名

4) MTDLP関連研修

(1) MTDLP基礎研修（現職者選択研修：必須）

北九州ブロック：

平成30年10月14日（小倉リハ学院）

参加者：47名

【福岡県作業療法協会 MTDLP取得状況】

MTDLP基礎研修修了者：1,437名（H30.11）

年間総参加者数：248名／達成目標500名

MTDLP研修修了者：83名【7.0%】

（全国：4339名【19.8%】）（H30年2月現在）

※%表示＝MTDLP研修修了者/基礎研修修了者

MTDLP指導者：6名（全国：130名）（H30年2月現在）

(2) MTDLP事例検討会

福岡ブロック：

平成30年10月21日（リファレンス駅東ビル）

発表者1名のためのため開催延期し

福岡東ブロックと合同開催予定

筑豊ブロック：

平成30年11月18日（飯塚記念病院）

参加者：発表者－4名，聴講者－5名

福岡東ブロック：

平成30年12月16日（須恵町地域活性化
センター・オイコス）

参加者：発表者2名，聴講者4名

5) 現職者共通研修

【第1回】

日時：平成30年10月21日（日）

場所：小倉リハビリテーション学院

総参加数：210名

6) 日本作業療法士協会 臨床実習指導者研修
(中級・上級)運営協力

日時：平成30年11月23日(金), 24日(土)

場所：麻生リハビリテーション大学校
県協会推薦派遣者4名受講済み

3. 平成30年度 主催研修会予定(詳細は県協会
ホームページをご参照ください)

1) MTDLP事例検討会

筑後ブロック：平成31年1月20日
(筑後商工会議所)

北九州ブロック：平成31年2月3日
(レインボープラザ)

2) 現職者共通研修

第2回 日時：平成31年2月16日(土)開催予定
場所：福岡和白リハビリテーション学院

3) 発達障害分野研修

日時：平成31年1月27日(日) 10:00~12:15
場所：みんなの貸会議室 701号室

福岡市中央区天神3丁目4番13号万多礼
ビル7階(地下鉄天神駅から徒歩2分)

テーマ：「発達性協調運動障害の評価とアプ
ローチ」

講師：岩永竜一郎先生(長崎大学 教授)

【倫理委員会】

1. 事業企画会議

第2回 倫理委員会企画会議

日程：平成30年10月24日(火) 19:00~

場所：香住ヶ丘リハビリ訪問看護ステーション
出席：4名

内容：福岡県作業療法協会倫理規定について
次年度の活動について

【企画委員会】

1. 報告事項

(1) 作業療法啓発用具等作成企画会議

日時：平成30年9月26日(水)

場所：作業療法協会事務局

参加者：田中聡, 峯浩一, 立野美奈,
中村しおり, 高崎弘嗣, 御木大地,
手嶋正弘, 千々和萌

内容：西日本福祉機器展と遠賀町健康福祉
祭りの企画

(2) 西日本国際福祉機器展企画会議

日時：平成30年10月17日(水)

場所：作業療法協会事務局

参加者：田中聡, 峯浩一, 立野美奈,
中村しおり, 高崎弘嗣, 御木大地,
手嶋正弘, 千々和萌, 松尾雅宣

内容：遠賀町健康福祉祭りの反省と西日本
国際福祉機器展の運営打ち合わせ

(3) 遠賀町健康福祉祭り

日時：平成30年10月21日(日)

場所：遠賀町ふれあいの里

参加者：立野美奈, 中村しおり, 高崎弘嗣,
手嶋正弘, 千々和萌

内容：作業療法の啓蒙啓発(作業体験・作業
療法説明・リハビリ相談)

(4) 西日本国際福祉機器展企画会議

日時：平成30年11月12日(月)

場所：作業療法協会事務局

参加者：田中聡, 峯浩一, 立野美奈,
中村しおり, 高崎弘嗣, 御木大地,
手嶋正弘

内容：西日本国際福祉機器展の運営詳細の
打ち合わせ

(5) 西日本国際福祉機器展

日時：平成30年11月14日(水)~11月17日(土)

場所：西日本国際展示場(新館)

参加者：田中聡, 佐藤稔, 峯浩一, 立野美奈,
中村しおり, 高崎弘嗣, 御木大地,
手嶋正弘, 千々和萌, 松尾雅宣,
他ボランティア

内容：作業療法の啓蒙啓発(作業体験・作業療
法説明・リハビリ相談・講演：佐藤稔氏)

【福岡東ブロック】

【事業区分公1】

第6回

期日：平成30年10月18日(木) 19:00~21:00

テーマ：作業療法の実施について必要なこと
~症例を通して考える~

講師：飯塚 恵津子氏

(作業療法士 医療法人 飯盛会 倉光病院)

会場：水光会総合リハ・フィットネスセンター

参加者：44名

第7回

期日：平成30年11月11日(日) 13:30~16:00
(受付13時から)

所属：医療法人 コールメディカルクリニック
福岡

テーマ：第一部 岩野歩先生 13:30~14:30

「ターミナルケアにおいてリハビリテーション
に期待する事・留意する事」

~人生の最終段階を生きる事を支える~

第二部 坂口聡子先生 14:40~15:40

「ターミナルケアにおける作業療法士の役割」

講師：岩野歩先生(医師),

坂口聡子先生(作業療法士)

会場：アザレアホール須恵(大会議室)

参加者：32名

平成30年生活行為向上マネジメント事例発表会

期日：平成30年12月16日(日) 9:30~12:00

会場：須恵町地域活性化センター

(オイコス) 2階 研修室3
参加者：7名 (発表者2名 聴講者5名)

【筑豊ブロック】

1. 報告事項

- (1) 第4回筑豊ブロック事業企画会議
日時：H30年10月9日 19：00～
場所：飯塚記念病院
参加者：19名
- (2) 第2回筑豊ブロック研修会
日時：H30年10月17日 19：00～
場所：飯塚記念病院
講師：安田由美氏
(デイサービスセンターゆみ 管理者)
テーマ：「もう一つの家，もう一人の家族
(認知症)」
参加者：28名
- (3) 第3回筑豊ブロック研修会
日時：H30年10月28日 9：30～
場所：飯塚記念病院
講師：靱井剛士氏
(らそうむ内科クリニック)
上田元紀氏 (直方病院)
高野健太氏 (田川新生病院)
福田寛徳氏 (飯塚記念病院)
香月隆宏氏
(らそうむ訪問看護ステーション)
手嶋雄太氏
(嘉麻良創夢デイサービスセンター)
テーマ：地域ケア会議に資する人材育成研修
参加者：9名
- (5) 第4回筑豊ブロック研修会
日時：H30年11月7日 19：00～
場所：飯塚記念病院
講師：原田琴枝氏
(飯塚市居宅介護支援事業者連絡協議会)
テーマ：「回復期・地域で働くリハビリテ
ーション専門職にケアマネジャーが
求めること」
参加者：38名
- (6) MTDLP事例報告会
日時：H30年11月18日
場所：飯塚記念病院
ファシリテーター：宮本香織氏，生駒英長
氏，長谷麻由氏，香月隆宏氏，上田元紀氏，
田中康平氏
参加者：9名
- (7) 平成30年度地域ケア会議専門職向け研修
日時：H30年12月1日 13：00～
場所：飯塚研究開発センター
参加者：10名 (+1名講師で靱井理事)
- (8) 飯塚市・嘉麻市・桂川町 在宅医療介護連
携推進事業
H30年12月2日 11：00～ 桂川町住民ホール

内容：体力測定ブース

参加者：9名

第5回筑豊ブロック事業企画会議

H30年12月10日 19：00～

らそうむリハビリの森デイサービスセンター
本店

参加者：17名

第5回筑豊ブロック研修会

H30年12月14日 19：00～

講師：宮本香織氏

テーマ：生活行為向上マネジメントを活用し
た福祉用具

参加者：22名

【北九州ブロック】

1. 活動報告

〈北九州ブロック〉

ブロック企画会議開催

日時：平成30年11月5日(月) 19:00～

場所：(公社)福岡県作業療法協会事務所

第29回全国ふうせんバレーボール大会

日時：平成30年12月2日(日) 7:00～16:30

会場：北九州市立総合体育館

参加者：11名

第2回北九州ブロック全体研修会

日時：平成30年12月11日(火) 19:00～21:00

会場：北九州市立男女共同参画センター

ムーブ 大セミナールーム

講師：赤津嘉樹氏

(小倉リハビリテーション病院医師)

中山卓也氏

(小倉リハビリテーション病院 PT)

劉濤氏 (福岡みらい病院 OT)

参加者：25名

〈小倉北・門司エリア〉

エリア事業企画会議開催

日時：平成30年11月1日(木) 19:00～

場所：新小文字病院すみれ寮

〈小倉南・京築エリア〉

エリア事業企画会議開催

日時：平成30年10月15日(月) 19:00～

場所：小波瀬コミュニティーセンター

〈八幡西・遠賀・中間エリア〉

エリア事業企画会議開催

日時：平成30年10月19日(金) 19:00～

場所：小嶺江藤病院

日時：平成30年10月23日(火) 19:00～

場所：新王子病院

日時：平成30年12月19日(水) 19:00～

場所：ごえん

第4回北九州ブロック研修会

日時：平成30年11月9日(金) 19:00～21:00

会場：ウェル戸畑

テーマ：「手」をもっと知ろう～解剖・疾患を

通して～

講師：下門範子氏（北九州総合病院）

参加者：67名

<八幡東・戸畑・若松エリア>

エリア事業企画会議開催

日時：平成30年10月2日（火） 19:00～

場所：あやめの里

日時：平成30年11月6日（火） 19:00～

場所：あやめの里

<広報部>

企画会議開催

日時：平成30年11月8日（木） 19:00～

場所：和菜屋

【福岡ブロック】

1. 平成30年度 事業企画会議

・第4回

日時：平成30年10月11日（木） 19:30～21:00

場所：都久志会館501会議室（福岡市中央区）

参加者：17名

・第5回

日時：平成30年12月6日（木） 19:30～21:00

場所：都久志会館602会議室（福岡市中央区）

参加者：18名

2. 平成30年度 福岡ブロック エリア研修会

・南部地区エリア研修会

日時：平成30年10月18日（木） 19:00～20:30

場所：福岡市男女共同参画推進センター アミカス 研修室A（福岡市南区）

内容：「嚙下りハビリテーションにおける作業療法士の視点」

講師名：久野良浩先生

（福岡脳神経外科病院 作業療法士）

参加者：10名（作業療法士）

東部中央地区エリア研修会

日時：平成30年12月10日（月） 19:00～20:30

場所：香椎丘リハビリテーション病院 研修室（福岡市東区）

内容：「OTに必要な住環境整備のポイント」

講師名：船谷俊彰先生

（Panasonicエイジフリー株式会社作業療法士）

参加者：49名（作業療法士 他職種含む）

3. 平成30年度第2回福岡ブロック事例検討会

日時：平成30年11月21日（水） 18:30～20:30

場所：九州大学病院 リハビリテーション部 研修室

参加者：発表者10名 聴講者9名（作業療法士）

4. 平成30年度 福岡ブロック研修会

・第3回

日時：平成30年10月13日（土） 14:00～17:00

場所：リファレンス 駅東ビルT会議室

（福岡市博多区）

内容：「リハスタッフのための福祉用具選定・

環境調整のポイント」

講師名：長尾哲男先生（作業療法士）

参加者：33名（作業療法士 他職種含む）

・第4回

日時：平成30年12月5日（水） 19:00～20:30

場所：ふくふくプラザ502研修室
（福岡市中央区）

内容：「うつ状態の高齢者へのアプローチ」

講師名：中島純二先生（今宿病院作業療法士）

参加者：34名（作業療法士 他職種含む）

5. 平成30年度福岡県医師会主催県民健康づくり
セミナー

日時：平成30年10月9日（火） 14:00～15:00

場所：福岡県医師会館5階研修室
（福岡市博多区）

内容：「認知症にならん隊」

講師名：真鳥伸也先生（樋口病院作業療法士）

参加者：80名（福岡県民の方）

【筑後ブロック】

【活動報告】

<公1>

1) 事業企画会議

第5回 筑後ブロック事業企画会議

日時：平成30年12月17日

場所：筑後商工会議所

2) 久留米地区（A地区）事業企画会議

日時：平成30年12月10日

場所：えーるびあ久留米

3) 八女・筑後地区（B地区）事業企画会議

日時：平成30年10月22日

場所：木もれ日苑

4) 有明地区（C地区）事業企画会議

日時：平成30年11月12日

場所：デイサービス ライズ

5) 朝倉地区（D地区）事業企画会議

日時：平成30年11月7日

場所：甘木中央病院

6) 広報部事業企画会議

日時：平成30年11月2日

場所：松岡病院

2. 研修会

1) 第2回事例検討報告会

日時：平成30年11月14日（水） 19:00～20:30

場所：久留米リハビリテーション学院

参加者：27名（発表者8名、聴講者19名）

2) 地域ケア会議助言者養成研修会

日時：平成30年11月23日（水）

場所：久留米大学医療センター

参加者：5名

3) 平成30年度筑後地区全体研修会

日時：平成30年11月11日（日） 14:00～

場所：ピーポート甘木

講師：佐藤三矢氏 吉備国際大学 准教授

テーマ：「精神機能面と身体機能面における
介護予防実践」
～オシャレと外出が寄与する健康寿命
の延伸～

参加者：OT15名, PT2名, CM1名, 学生6名,
一般6名 計30名

4) 第2回筑後ブロック分野別研修会

日時：平成30年12月9日（日）

9時30分受付 10時00分開始

場所：専門学校久留米リハビリテーション学院

・身体障害部門：参加者42名（うち学生4名）

テーマ：麻痺側上肢に対する徒手促通法の提案

講師：池田裕弥先生

（八女リハビリ病院作業療法士）

・地域・老年期障害部門：

参加者24名（うち学生6名）

テーマ：地域関連職種における、リーダーとして
の役割

講師：木村伸一郎先生

（いきいき久富リハビリケア作業療法士）

・精神障害部門：参加者19名

（うち他職種1名 学生6名）

テーマ：ACT(アクト)による訪問支援の実際と
作業療法士の役割

講師：渡邊真里子先生

（ちはやACTクリニック 院長）

・発達障害部門：参加者18名（うち学生6名）

テーマ：発達障害への作業療法

講師：西島和秀先生

（医療型障害児入所施設・療養介護医療
福祉センター聖ヨゼフ園作業療法士）

〈公2〉

1. 広報活動

1) 筑後OT GOGO計画

・取材活動

日時：平成30年12月11日

場所：訪問看護Reafくるめ

取材対象者：丸目佳菜OT

2) SNSでの広報活動

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. 事業企画会議

1) 第6回 筑後ブロック事業企画会議

日時：平成31年2月18日19:00～

場所：筑後商工会議所

2) 第5回有明地区企画会議

日時：平成31年1月21日（月）18:00～

場所：デイサービス ライズ

3) 有明地区地域包括ケアシステム推進会議

日時：平成31年3月上旬

場所：帝京大学 福岡医療技術学部

4) 朝倉地区地域包括ケアシステム推進会議

日時：平成31年2月下旬

場所：甘木中央病院 作業療法室

2. 研修会

1) MDLP事例報告会

日時：平成31年1月20日（日）

場所：筑後商工会議所

2) 平成30年度事例検討報告会

第3回：平成31年1月17日（木）

場所：介護老人保健施設アルファ俊聖

第4回：平成31年2月14日（木）

場所：えーるぴあ久留米



井の中の蛙，大海を知らず

おばた内科クリニック 板井 幸太

「井の中の蛙，大海を知らず」これは、私が作業療法士として勤務していく上での座右の銘です。私は早良区田村にある、神経内科や難病・認知症患者を主に診療している「おばた内科クリニック」に勤務する作業療法士です。当クリニックは2016年9月1日に新規開業した総スタッフ数14名のクリニックで、職種間の垣根を超えて医療を提供する事をモットーとしたクリニックです。リハビリテーション科は作業療法士2名、理学療法士4名の計6名の少数精鋭で、学会発表や講演活動をはじめ、今年度よりリハビリ学生の受け入れも行い、「臨床・教育・研究」の3本柱で刺激ある毎日を送っています。

私自身の話を少しだけさせていただきます。当院に就職する前は同じ早良区にある急性期病院で整形外科や神経内科領域を中心に作業療法士として働いてきました。今思い返せば、急性期病院での勤務時代は1～2週間程度の入院患者さんが多く、脳卒中や骨折直後で意識障害や安静度制限が主であった為、ベッドサイドモニターやバイタルの変動にばかり集中していました。その結果、患者さん自身や、その方を取り巻く家族構成や環境、必要な福祉用具といった視点まで考慮できていませんでした。

新規開業のクリニックの立ち上げスタッフとして勤務していく中で、医師や看護師によるバイタルチェックや医療行為、技師による画像やエコー評価、ケアマネージャーによるケアプランの作成、リハビリ後の会計や計画書等の算定方法など・・・様々な職種の方々の関わりやフォローがある事でリハビリの仕事が行えている事を実感しました。当然の事かもしれませんが、職種は異なっても患者さんに対して常に100%の知識と技術で向き合う。経験年数は10年目という節目にきましたが、まだまだ日々勉強させられる事が多いです。より多くの事を吸収し、幅広く患者様、利用者様から信頼して頂けるよう「井の中の蛙，大海を知らず」この言葉を忘れる事なく、今後もこの精鋭揃いのスタッフで患者さんから信頼して頂けるクリニックを作っていきたいと思えます！

当院独自の3本柱のルール

『臨床』

医師やリハスタッフだけでなく医療スタッフや事務スタッフも含めたカンファレンスを週1回開催し、一人ひとりに応じたオーダーメイドなゴール設定ができる体制をとっています。

『教育』

リハ学生や新人スタッフに対し経験上のスキルではなく、解剖・運動・生理学に沿った病状解釈やアプローチ方法の検討等をフィードバックしています。またリハ学生に対してはセラピストとしての自覚を持ってもらうよう「学生さん」との呼び方は禁止にしています。

『研究』

常に根拠を持ったアプローチが行えるよう、定期的な評価によって得られた数値に対し、統計学的根拠の立証や再考、対外的な学会発表や論文作成を積極的に行っています。



リレーエッセイ

八幡厚生病院 小塩 恭平

みなさま、はじめまして。北九州市八幡西区にある八幡厚生病院という精神科の病院に勤めている小塩恭平と申します。このリレーを回してくれた田中真理子さんとは専門学校時代の同級生で、同じ電車通学だったこともあり、学校の最寄り駅で共に何度も通り過ぎる貨物列車を見送りながら、自分たちの電車が来るのを待っていたという日々をつい昨日のように思い出します。

現在、私は主に気分障害や摂食障害の方を対象としたストレスケア病棟の担当に加え、外来作業療法やリワークデイケアのプログラムの一部を担当させていただいています。そのなかでも特にSSTや認知行動療法の技法のひとつである行動活性化、第三世代の認知行動療法の一種とも言われているマインドフルネスについて力を入れて勉強しています。

この3つの技法に共通することとして、勉強を深めていくことで、患者様に幅広い知識を提供できるだけでなく、自分たちの日々の生活もより充実したものになると感じています。やりたくないことを押し付けられ、断ることができない人、ぐるぐると悩み続けた結果、外出することが億劫となり、結果として1日中、ぐるぐると考え続けてしまい、ますます不安な気持ちが高まる人、感情的になってしまうと、感情の赴くままに行動してしまう人、よく日々の臨床で見かける方々です。しかし、ふと自分の胸に手を当てて思い返してみると、自分たちも同じようなことで悩んでいることはないでしょうか？私の恩師は作業療法について、【対象者と一緒に】というキーワードが大事だと教えてくれました。まさしく日々、私たちが臨床で提供しているものを【対象者と一緒に】取り組んでいくことで、自己理解も深まり、結果として、患者様にもよりよいものが提供することができるのではないかと感じています。

今後も恩師から教わった【対象者と一緒に】というキーワードを忘れずに、日々の臨床および自己研鑽につとめていきたいと考えています。写真は趣味のマラソンで念願のサブ4を達成したときの写真です。今年度も出場予定なので、「こっしー」の名札を見かけた方は声援をよろしくお願いします。



訪問看護ステーション デューン

- 【募集職種】 作業療法士（精神科/訪問）
【募集人員】 各拠点とも若干名
【雇用形態】 正社員
【給 与】 240,000円～261,000円
+訪問件数手当
※役職者は別途定めがございます。
【賞 与】 年2回（6月，12月）会社規定による
【勤務時間】 9：00～18：00
【休 日】 週2日+祝日を休日とし，シフトにて決定
【福利厚生】 雇用，労災，健康，厚生年金
【その他】 下記3事業所にて募集中です。
デューン福岡（千代県庁口駅付近）
デューン北九州（小倉駅付近）
デューン久留米（西鉄久留米駅付近）
退職金制度あり（勤続3年以上）
精神科実務経験無い方でも応募歓迎です
【備考】 試用期間あり（条件変更あり）
【連絡先】
（株）N・フィールド人事部 採用担当宛て
TEL：06-6343-0600
E-mail：jinji-osaka@nfield.co.jp

ワンステップ株式会社 ワンステップリハビリデイサービス

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 非常勤職員
【給 与】 時給1,500円
【賞 与】 *****
【勤務時間】 9：30～15：30
【休 日】 日曜日 年末年始12/30～1/3
【福利厚生】 車通勤可 交通費当社規程
【その他】 勤務日 時間等 応相談
【備 考】 作業療法士
リハビリ特化型デイサービスでの機能訓練業務
【連絡先】
ワンステップ株式会社
ワンステップリハビリデイサービス
管理者 河野 香織
事業所
福岡県北九州市小倉南区横代東町1-1-45
TEL：093-383-8132 FAX：093-383-8162
E-mail：kaorinao@mint.ocn.ne.jp

医療法人 松崎クリニック

- 【募集職種】 作業療法士・理学療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 パート労働者
【給 与】 時給 1,100円～1,200円
【賞 与】 なし
【勤務時間】 12：00～16：30
【休 日】 日曜 祝日（勤務は月～金曜日）
【福利厚生】 マイカー通勤可能
【その他】 交通費実費支給
（上限月額20,000円）
【備 考】 通所リハビリテーション業務
（短時間）
【連絡先】
〒813-0035
福岡市東区松崎2丁目22-6
医療法人 松崎クリニック
TEL：092-672-1700 FAX：092-663-8085
担当：松本伸吾

宅老所モモタロウ宅老所モモタロウあらしき

- 【募集職種】 作業療法士または理学療法士
【募集人員】 1名（欠員が出たため）
【雇用形態】 ①パートまたは②正社員
【給 与】 ①時給1200円～②226000円
基本給+手当
【賞 与】 年2回（実績による）
【勤務時間】 ①9:30～15:30（応相談）
②8:30～17:30
【休 日】 日曜 シフト制（4週8休）
【福利厚生】 シナプソロジーコーポレート企業
他資格取得補助あり ポロシャツ支給
休暇制度あり（3年以上の者）
【その他】 交通費あり 無料駐車場
レッドコード4台 マシン3台
<https://www.facebook.com/caremomotarou-care-momo.com/>（HP日々の様子を掲載しています）
【備 考】
地域密着型通所介護の機能訓練業務，総合事業（介護予防・一般介護予防事業），試用期間3ヵ月
※行事の企画や地域の出前講座など興味のある方に向いていると思います。
【連絡先】 住所 福岡県久留米市野伏間1丁目8-46
TEL：0942-65-8726（ケアプランモモ事務所兼用）
FAX：0942-65-8729
担当者名 森川

訪問看護ステーション四つ葉

- 【募集職種】 作業療法士 または理学療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 常勤または非常勤
【給 与】 19万～（経験による）
【賞 与】 2回/年
【勤務時間】 9時～17時半
【休 日】 週休2日（シフト制）
【福利厚生】 各種保険あり
【その他】 交通費支給（上限あり）
【備 考】 訪問看護ステーションからの訪問業務です

【連絡先】

住所：若松区今光3丁目1-15
TEL：093-982-0890
FAX：093-982-0650
担当者名 上野

医療法人恵愛会 福岡病院

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 2～3名
【雇用形態】 正社員
【給 与】 193,000+経験給+諸手当
【賞 与】 年2回 計3.0カ月（前年実績）
【勤務時間】 8：30～17：00
【休 日】 週休二日（シフト制），開院記念日（3月10日），年末年始，リフレッシュ休暇年間休日：120日前後
【福利厚生】 社会保険完備（厚生/健康/雇用/労災）
【その他】
通勤手当：上限30,000円（公共交通機関）
マイカー通勤可（別途規定あり），育児休業・介護休業あり
【備 考】
・業務拡張の為、精神科リハビリテーション（入院医療、地域医療、福祉・介護）に関心のある臨床経験3年以上
・老人保健施設勤務経験者尚可
・選考方法は書類審査・面接を予定
【連絡先】
〒811-3295
福岡県福津市花見が浜1丁目5番1号
TEL：0940-42-0145 FAX：0940-42-7181
担当 安永、坪井

編集後記

今月号の特集は介護老人保健施設ほうらい山荘後藤真司さんに「作業療法士としての地域の関わり～地域ケア個別会議から学び、実践してきたこと～」という題目で執筆していただきました。後藤さんは2015年から豊前市の地域ケア会議に参加され認知症カフェや認知症サポーター養成講座、地域リハビリテーション活動支援事業などの地域の活動に積極的に参加されています。今年度は福岡県作業療法協会の各ブロックでご活躍の方々から地域ケア会議をテーマに執筆していただきました。各ブロックそれぞれの地域で特色のある活動が行われていることがお分かりいただけたのではないのでしょうか。執筆してくださった皆様ありがとうございました。病院に勤務されている作業療法士の皆様も患者さんの退院後の生活や患者さんが生活している地域の地域資源や地域の活動に目を向けてみると、考え方やアプローチの幅が広がると思います。

今年で平成が最後となり、5月からは新元号に変わります。4月には福岡県作業療法協会ホームページもリニューアルを行い、会員の皆様も少しでも利用しやすい環境を整えていきます。今年もよろしくお願ひ致します。（許山）





第1回九州作業療法学会

The 1st Kyushu Occupational Therapy Congress

会期 2019年6月22日(土)・23日(日)

会場 北九州国際会議場

主催 九州作業療法士会会長



<会場QRコード>

学会長挨拶



記念すべき第1回九州作業療法学会のテーマは“Stay Gold”。障がいを持つ持たない、年齢に関係なく“一人ひとりが輝き続けて欲しい”そういう思いを込め“Stay Gold”としました。人が輝くには、その人の思いを実現することになります。失語症や重症心身障がい、認知症、自閉症スペクトラム、双極性障がい等、言葉にできないばかりか、言葉が思いの伝達を阻害することも多くあります。そのような方に私たち作業療法士は、作業・活動の様子から推論をたて、思いに重なることを通じて、大切なことを感じ取ってきました。作業療法士が国家資格になって50年が過ぎました。この間の対象者の思いとそれを実現しようとしてきた先人たちの知恵と工夫と技術が、これから迎える生産人口減少社会の課題解決につながると考えています。今まで支えられる側だった方が支える側になる。“自分のなりたい自分になれる”それが一億総活躍社会だと考えます。今まで対象者から教えられ、蓄積してきた作業療法で、その方の“Stay Gold”に挑戦する。そのヒントを掴めるような学会にしたいと考えています。

第1回九州作業療法学会 学会長

濱本 孝弘 (医療福祉センター聖ヨゼフ園)

演題募集要綱

演題応募はインターネットを利用したオンライン登録のみです。

詳細はホームページ (<http://kyuot1.umin.jp/>) の演題募集要項を確認してください。

演題募集期間：2018年10月1日(月)～11月30日(金)

【演題登録に関する問合せ】 第1回九州作業療法学会
学術局査読担当：中津留 正剛
E-mail : kyuot2019@gmail.com

第1回九州作業療法学会事務局

(公社)福岡県作業療法協会内

〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

E-mail: fuku-ota@fancy.ocn.ne.jp

<http://kyuot1.umin.jp/>